

J-FlashによるフラッシュROM書き込み

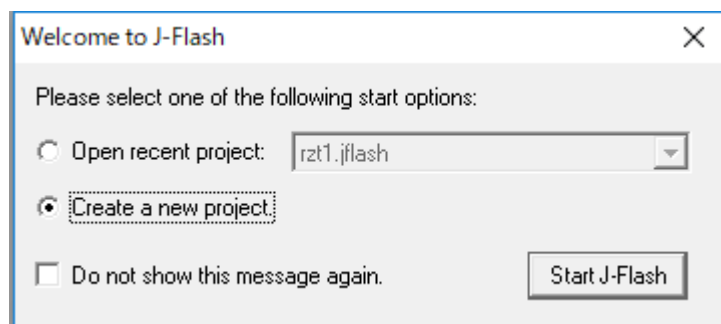
J-Link SoftwareをインストールするとJ-Flashソフトが使える。

J-Flashにより、ターゲット基板のフラッシュメモリーにデータ書き込みができる。

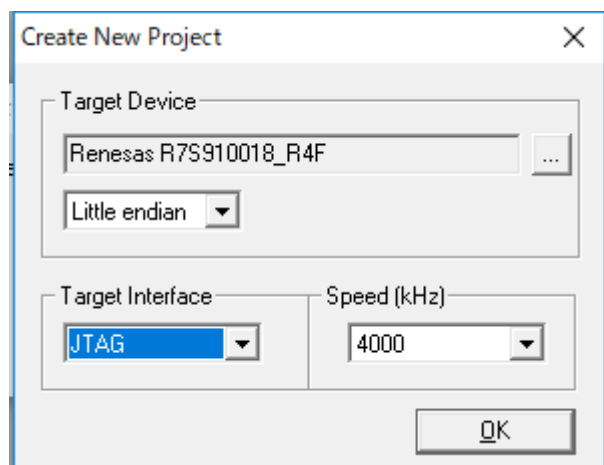
J-Flashの起動

スタートメニュー☐ > SEEGER > J-Flash の起動

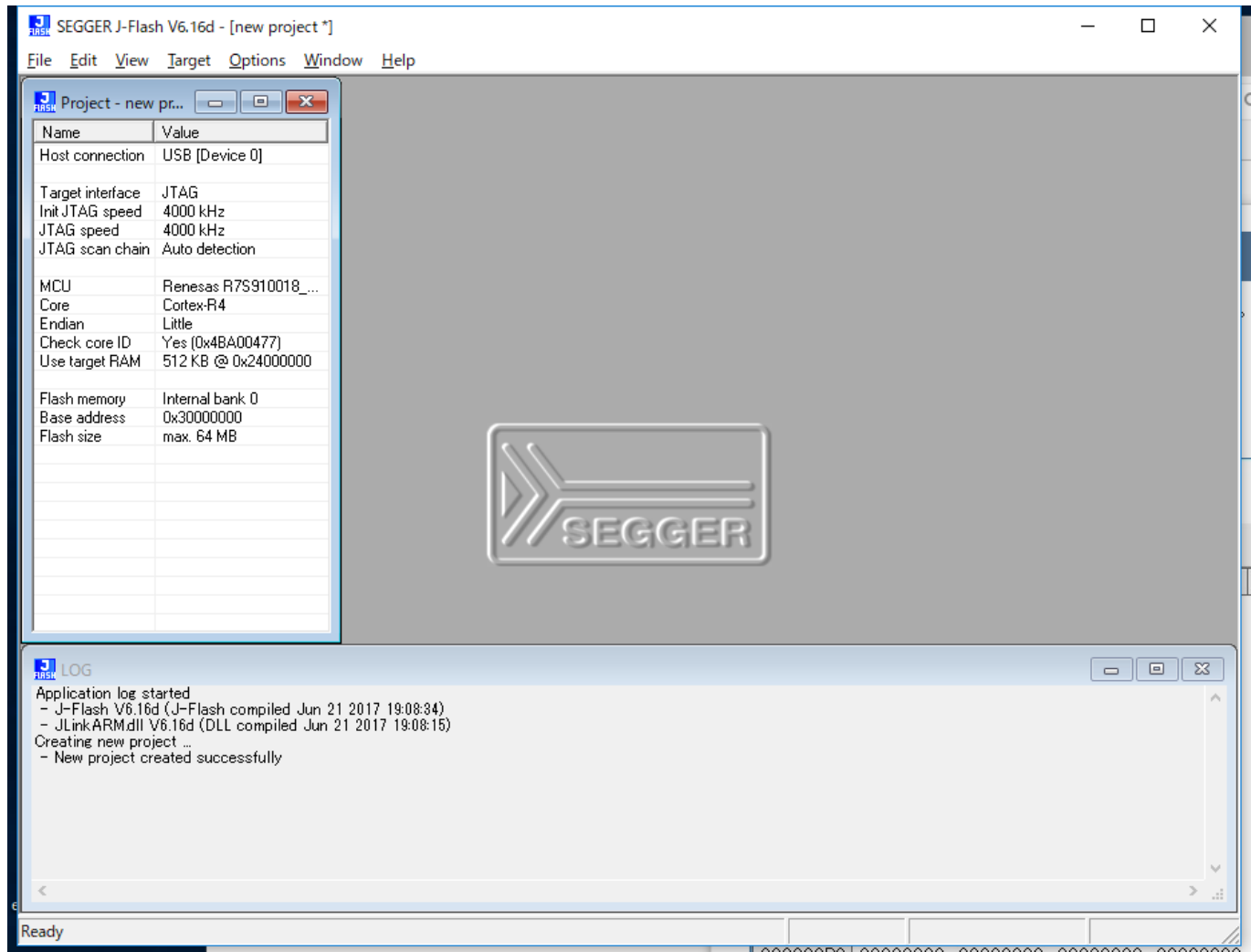
起動後の初回はプロジェクト情報を入力する☐☐Create a new project☐選択する。



ターゲットCPUの種類とJTAGインタフェースを選択。

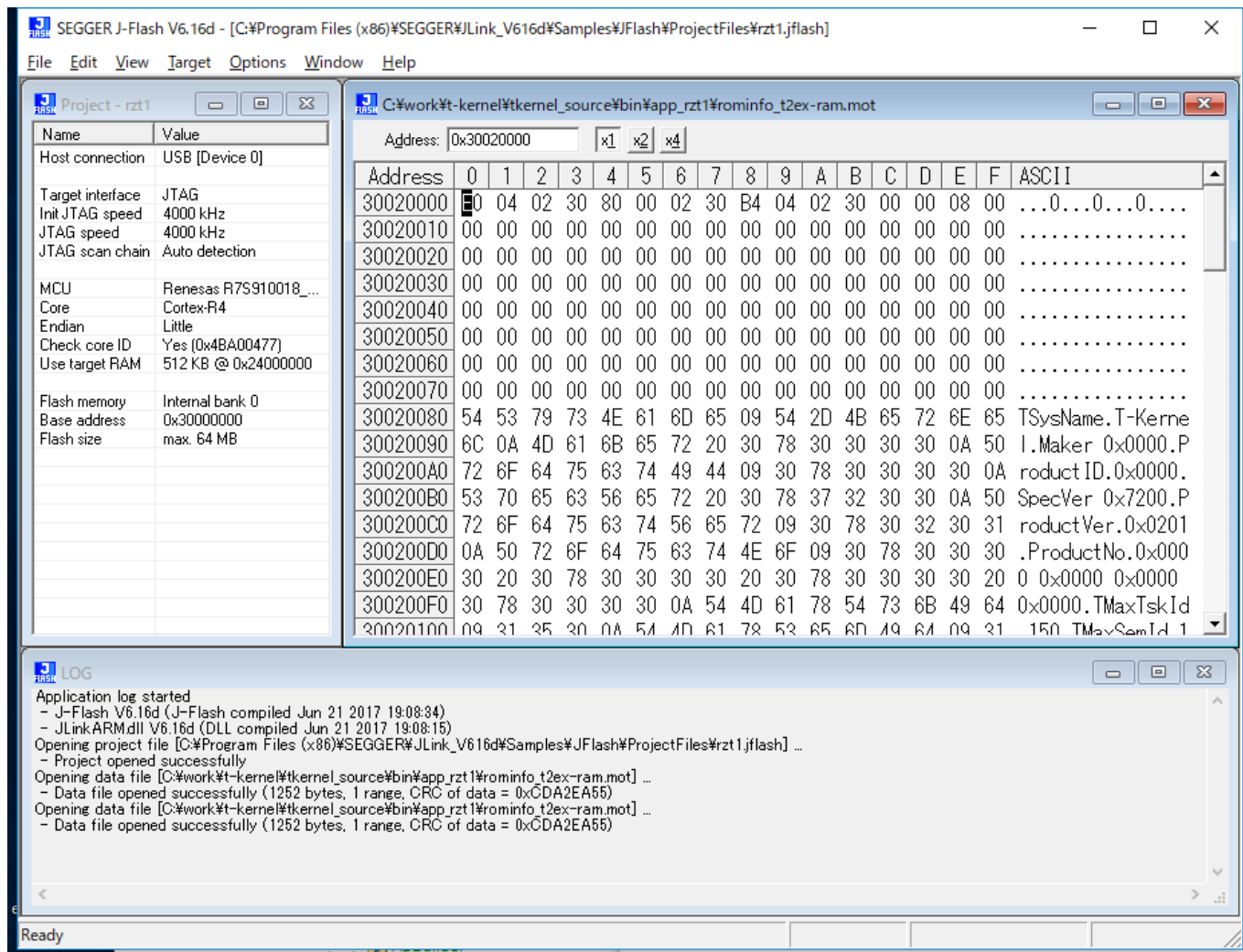


起動したら以下の画面となる。



書き込むデータファイルの選択

File > Open data file... からモトローラ形式データファイル(Sフォーマット)を選択し読み込む。

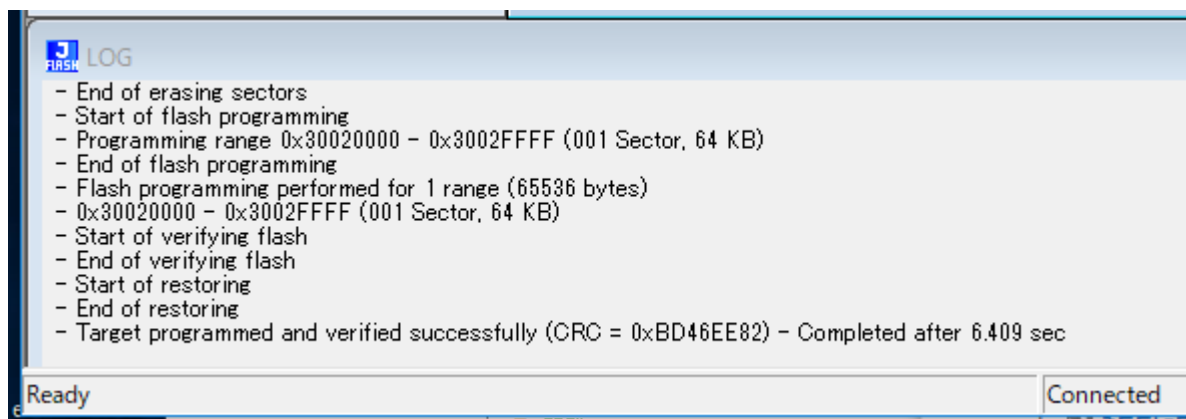


フラッシュROMに書き込み

以下手順で書き込みを実行。

1. Target > Connect
2. Target > Manual Programming > Program & Verify

正常に書き込めると、画面下のログに「Successfully」と表示。



Target > Disconnect で接続を解除し、J-Flashを終了する。

補足

- 終了時にプロジェクト情報を名前を付けて保存しておく、次回起動時に選択する事で、CPU情報などを入力しなくて済む。

From:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/> - 新石器Wiki

Permanent link:

<https://www.yokoweb.net/dokuwiki/devtool/jtag/jlink/jflash-rom-write>

Last update: **2026/07/28 13:16**

